

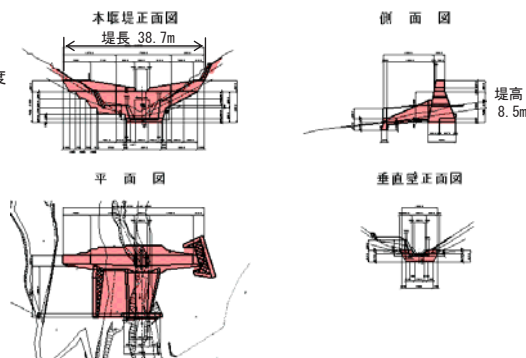
## ■効果の見える治水事業

### 香川県 上の山川(観音寺市豊浜町)の砂防事業 『上の山川 通常砂防工事』

香川県西讃土木事務所長 西川 英吉



事業箇所 観音寺市豊浜町  
事業期間 平成21年度～平成23年度  
全体事業費 102百万円  
事業計画 砂防堰堤1基  
堤高 8.5m  
堤長 38.7m  
堤体積 1,014m<sup>3</sup>  
貯砂量 2,890m<sup>3</sup>  
流域面積 0.05km<sup>2</sup>



本溪流は、讃岐山脈に源を発し、瀬戸内海に流れ込む流域面積0.09km<sup>2</sup>、平均溪床勾配1/3.0の土石流危険溪流であり、下流には人家20戸、耕地5.7haに加え、幹線道路である四国横断自動車道、国道11号及びJR予讃線が存在しています。

当流域では、平成16年9月に発生した台風21号の影響で山腹崩壊、溪岸浸食が発生したほか、流域内に不安定土砂が堆積しており、今後の降雨により更なる土石流災害の恐れがありました。

このような状況に鑑み、土砂災害の発生を未然に防止し、住民の方々の生命、財産を守るための砂防堰堤建設を計画しました。

当事業は、平成21年度に事業着手し、地元住民の皆様のご協力のもと、平成23年度に完成しました。



着工前(平成23年4月)



竣工後(平成25年11月)

## 「危機管理の行き届いたまちづくり」

観音寺市長 白川 晴司



今回、香川県に施行いただいた「上ノ山川通常砂防事業」は、観音寺市豊浜町箕浦に位置しておりますが、この箕浦は、香川県の最西端に位置する観音寺市の中でも西端に位置する地区です。その地形は、北は瀬戸内海の燧灘に面し、南はすぐに讃岐山脈といった平地のほとんどない急峻な斜面になっています。豊浜町は「ナシ」の栽培が盛んに行われておりますが、この箕浦地区では温暖な気候とこの斜面を利用して、「ミカン」の栽培が主に行われております。また、燧灘に望んで、未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選にも選ばれた箕浦漁港があり、風光明媚な土地柄であります。

しかし、この平地が少ない地形であるがゆえに、ひとたび土砂災害が起これば、被害が大きいものになります。現実には平成16年には台風15号をはじめ、度重なる集中豪雨により、農地を中心に宅地も多数被災したところです。この上ノ山川は「箕浦漁港」を含む集落の上流部に位置し被災した地域で、この「上ノ山川通常砂防事業」により地域の安全性が確保されるものと期待しています。

しかし、この箕浦地区では「上ノ山川」以外にも危険箇所を多数有しており、砂防事業が急がれています。また、この地区の地形から避難場所がほとんどないというに、避難路も国道11号しかなく、土砂災害が起これば寸断されてしまうと孤立する恐れがあります。平成16年の高潮による浸水等の被害も発生しており、今後は地域の特性を考慮した防災対策を推進するとともに、砂防施設整備等のハード面での防災対策に加え、地域住民の自主防災活動、災害時の避難路・輸送路や避難場所の体系化等、ソフト面での対策も含め、危機管理の行き届いたまちづくりを目指していきたいと考えています。



愛媛県境付近からの観音寺市全景



「箕浦漁港」